

帯状疱疹予防接種説明書

帯状疱疹予防接種を受ける前に必ずお読みください。

【帯状疱疹とは】

帯状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「帯状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。帯状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

【対象となる方】 令和7年度の対象者は以下の人です

甲斐市に住所を有する人のうち

- ① 令和7年度に65.70.75.80.85.90.95.100歳になる人
- ② 100歳以上の人(令和7年度に限り)
- ③ 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な人

【帯状疱疹ワクチンとは】

帯状疱疹ワクチンには①生ワクチン(阪大微研:乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」)、②組換えワクチン(GSK社:シングリックス)の2種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、帯状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

	乾燥弱毒生水痘ワクチン 「ビケン」(生ワクチン)	シングリックス(組換えワクチン)
接種回数 (接種方法)	1回(皮下に接種)	2回(筋肉内に接種)
接種スケジュール	—	通常、2か月以上の間隔を置いて2回接種 ※病気や治療により、免疫の機能が低下した または低下する可能性がある方等は、医師が 早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔 を1か月まで短縮できます。
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種出来ません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

その他に、接種前に発熱を呈している方、重篤な急性疾患に罹っている方、それぞれの予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方等はいずれのワクチンをも接種出来ません。

また、心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方、けいれんを起こしたことがある方、免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方、帯状疱疹ワクチン(生ワクチン、組換えワクチン)の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方等はいずれのワクチンについても接種に注意が必要です。ワクチン接種は体調の良いときに受けるのが基本です。心配な人は主治医にご相談ください。

【帯状疱疹ワクチンの効果】

		乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」(生ワクチン)	シングリックス(組換えワクチン)
帯状疱疹に対するワクチンの効果(報告)	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後10年時点	－	7割程度の予防効果

※合併症の一つである、帯状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

【帯状疱疹ワクチンの安全性】

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

主な副反応の発現割合	乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」(生ワクチン)	シングリックス(組換えワクチン)
70%以上	－	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤*、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感*、腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹*、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛

*ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚労省にて作成

【他のワクチンとの同時接種・接種間隔】

いずれの帯状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナウイルスワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。ただし、生ワクチン(阪大微研)については、他の生ワクチンと27日以上の間隔を置いて接種してください。

【接種を受けた後の注意点】

ワクチンの接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。

注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。

当日の激しい運動は控えるようにしてください。

【接種費用について】

予防接種費用の一部を助成します。(助成後の自己負担額の目安は以下のとおりです。)

対象者のうち生活保護世帯の人は、事前に申請をすることで接種費用が無料となります。接種券を交付しますので、事前に窓口で申請してください。

種 類	自己負担額目安	接種回数
乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」(生ワクチン)	4,500円程度	1回
シングリックス(組換えワクチン)	1回 11,000円程度	2回

※自己負担額は医療機関によって金額が異なります

【予防接種健康被害救済制度について】

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。